

子どもの貧困研究のフロンティア

定例学術研究会

<第44回>

日本で児童虐待防止法が制定されておよそ四半世紀になります。子どものために様々な対応がなされてきましたが、その評価は誰によって・何によってなされるのが適当なのでしょう。

今回の報告では、東京都立大学助教の根岸弓先生にお越しいただき、被虐待児の視点から・子どもの権利を通じて、児童虐待対応制度の評価をおこないます。ここで扱う子どもの権利は、単に子どもの権利条約の規定を指すのではなく、よりメタな子どもの権利論から被虐待児のミクロな経験に基づく子どもの権利までを含みます。子どもの権利そのものも被虐待児の声から検討されており、新たな視野をご提案いただきます。ぜひ、ご参加ください。

日時：2024年5月27日(月) 18:00-20:00

報告：

被虐待児の視点からみる児童虐待対応制度の評価と子どもの権利

報告者：根岸弓先生

(東京都立大学 人文社会学部人間社会学科 社会福祉学教室 助教)

ハイブリット開催：ZOOM

対面：東京都立大学オープンユニバーシティ飯田橋キャンパス

(東京都千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館 3階 35教室)

(人数を制限して対面での参加も可能としました)



ZOOM 申込

<https://zoom.us/meeting/register/tJMqduisqj0sHt15tGly-C0ehIC1Tn4FiHMI>



対面申込

<https://forms.gle/Qqa8pTBTBAFHYVPF9>

お問い合わせ

東京都立大学子ども・若者
貧困研究センター

E-mail:rccap@tmu.ac.jp

(担当者 三浦・松原)